

の
を行いました



五箇荘金堂町のシンボルとして皆さんに愛されている寺前の水路川の錦鯉が、鷲の被害にあっています。

そこで驚対策として昨年十月、保存会の有志により、寺前の水路川の上に魚釣り用のテグスを張りました。

景観上は好ましくありませんが、苦肉の策です。おかげで鯉の被害は少なくなりました。ところが最近劣化により、テグスが切れ始めました。

そこで十一月十日に保存会の皆でテグスの張替えを行いました。併せて、外興さん横の堰の底が抉れ、水漏れがひどくなっていました箇所の補修も

実施いたしました。この補修により水漏れが無くなり、またゴミも流れやすくなりました。

寿会の皆様が一日も欠かさず川の掃除をして下さっているお陰で、きれいな川が維持できています。寿会の皆様に感謝するとともに、私達もきれいな川の維持に努めたいと思います。

現在は鯉も大分減り、五十匹ほどになりました。しかし今後、徐々に補充を行い、川



いっぱい元気よく泳ぐ鯉を皆様に楽しんでいただきたいと思えます。

(山脇 隆)

金堂の
発見



金堂集落の中央にある馬場広場の一角に、巨大な石塔があります。「金堂馬場の五輪塔」です。

五輪塔は、仏教の思想で宇宙を構成する要素（五大と言いい「地・水・火・風・空」）を造形したと言われており、下から地輪・水輪・火輪・風輪・空輪と呼びます。

馬場の五輪塔は、地輪が二石を合わせ、水・火輪は各一石、風・空輪は一石の構成です。なお、空輪の頂部が少し

欠けていますがほぼ完全に残っており、総高197cmの七尺塔として建てられました。火輪の軒反りが控え目で、豪快と言うよりは全体的に洗練された印象を受けます。



各輪の四方には梵字

が彫られ、また、地輪には「正安二季庚子二月日 願主沙弥蓮口建之」と彫られており、正安二年（千三百年）に沙弥（在家の僧侶）の蓮口が建てたことが判ります。建立年の判る大型五輪塔としては県下最古で、東近江市指定文化財と指定されています。

当初の場所から移動した可能性もありますが、鎌倉時代には金堂に大型石塔を建てた有力者がいたことが判り、中世の金堂のようすを知ることのできる貴重な資料となっております。

(近江商人博物館学芸員 林 純)

編集後記

「ぶらりまちかど美術館博物館」では、中江邸に多数の方が来て下さいました。

来年度の「金堂まちなみ保存交流館」の開設が今から楽しみです。

なお、今年度の事業として進めてきましたホームページが開設致しました。

皆さん一度、来場ください。そして、「ご意見の書き込みをお願い致します。」

(野村 勝彦)

「ぶらりまちかど美術館・博物館」をふり返り

金堂まちなみ保存会は、今年も「ぶらりまちかど美術館・博物館」に企画いたしました。特定非営利活動法人となつてからは、初めての企画です。保存会として、年度初めから事業計画に組み入れ、早くから準備を進めてきました。当日は、残暑厳しい一日で



した。しかし、厳しい条件にもかかわらず、当初予定していた販売成績を、早い時間に達成致しました。この結果は、長年携わってきた会員の経験と、新たに参加された方々の協力が、うまく連携できた結果と信じています。

また、こうした事業への参加が会員間に輪を広げ、団結心が育まれます。そしてこの団結心が、会の基盤強化に繋がると確信しています。

「ぶらりまちかど美術館・博物館」は東近江市内で開催されるイベントの中で、金堂町が中心となる唯一のもので、金堂の新しいまちづくりに結びつけるためにも、来年は金堂町挙げての参加をお願いいたします。

(理事長 西村 寛)

金堂まちなみ保存会は、今年の「ぶらりまちかど美術館・博物館」において、「まち探検Ⅱの作品展示」、「古写真展」、「おけ風呂展」を旧中江富十郎家にて開催しました。

当日は七百十九名もの来館者があり、大盛況でした。

「まち探検Ⅱの作品展示」は、子ども会の皆さんが夏休みの一日、外村繁郎、旧中江富十郎家を中心にデジカメ片手にまち探検を実施し、自らが発見したお宝をカルタとして表現した作品を展示しました。子どもたちが作品の前で記念写真を撮るなど、会場は和やかな雰囲気でした。なお、子ども達の作品は、来春開催する「金堂まちなみ保存交流館」においても展示致します。

「古写真展」は、町内の皆様より提供して頂いた、金堂の昔の風景を写した貴重な写真で構成いたしました。

古写真の前で思い出話を語り合う光景が展開しました。

(西村 正義)

今年は特別企画として、「おけ風呂」の展示・模擬入浴体験コーナーを設けました。また琵琶湖博物館学芸員の老文子(おい、ふみこ)さんに講演をお願いしました。

懐かしく、環境にやさしい「おけ風呂」は来館者の注目を浴び、老さんの話にも多くの方が耳を傾けていました。

さらに、初めての試みとして、地元の野菜等の販売を行いました。新鮮・安心・安全と人気を呼び売れました。

これらの企画の実現に対してご協力頂いた、多くの方々に御礼申し上げます。

いよいよ来春、旧中江富十郎家が「金堂まちなみ保存交流館」として開館いたします。

町民の皆様のお一層のご理解・ご協力を宜しくお願いいたします。



第6号
平成19年11月17日発行
発行者: 特定非営利活動法人
金堂まちなみ保存会
理事長 西村 寛
普及啓発委員会